



山間部の溪流で越冬するアオシギ。香川県では観察記録が極めて少ないのですが、今回写真を伴う観察報告をいただきました。

アオシギ

2006年4月7日、9日

寺口耕一・安喜聖恵

ある滝の滝壺に向かって川沿いの歩道を歩いているとき、川淵の石陰に1羽の茶色いシギがじっとうずくまってこちらを見ているのに気づきました。

思わずこちらもうずくまってじっと動かずに見ていると、彼（彼女）はしばらくそのままじっとしていましたが、やがて石陰から出てきて身体をゆっくり上下させながら歩き出し、嘴を水にさすような形で立てて餌を探し始めました。



▲2006.4.7 香川県内の某滝付近 Photo©寺口耕一

5分ほど川の中を歩いていましたが実際に何かを取って食べるころは残念ながら見られませんでした。

その後河岸に上がってふたたびじっと動かなくなったので、静かにその場を離れました。

2日後に再び妻と一緒に同じ場所に行ってみたところ、初めに見た時とほぼ同じ場所で、川淵の草陰にじっと隠れてこちらを見ている枯れ草模様のシギを発見。

おどかさないようにグルーッと遠回りして上流側に行き、スコープを合わせてみると、背中を向けた彼がこちらを気にしつつ、まるでひげダンスよろしく（ほんとにそっくり！）身体を上下にゆらしながら、ゆっくりと石の裏側に歩いていくのが見えました。その日はそれでおしまい。

それからは姿が見えませんでしたので、旅の途中の休憩場所だったのかもかもしれません。

※事務局から 今回、報告者の方からは観察地の詳細な報告をいただきました。しかし本種は香川県では非常に珍しいため、詳しい観察地を公表すると、狭い溪流に頻繁に野鳥観察・撮影者が訪れたり、観察・撮影のために長時間待機する可能性があります。そうすると本種が安心して採餌ができず、生息に悪影響を与えかねません。そこで報告者の方のご了解を得て、本会では観察地を伏せることとしました。ご了承ください。

アオシギ *Gallinago solitaria*

日本では亜種アオシギ *G. s. japonica* が全国各地の山間部の溪流、湿原、水田、湖沼畔で越冬する¹。

四国では、徳島県で1982年1月4日～19日の記録（佐那河内村根郷園瀬川、1羽）が徳島県初記録として報告²されて以降、1993年4月（佐那河内村大川原高原 県立佐那河内いきものふれあいの里）など佐那河内村で1996年までに3例、その後1999年までに鳴門町北灘などでも記録がある³。また愛媛県では、愛媛県面河村産（日

付不明、1982年以前)の標本がある⁴ほか、1986年2月6日(西条市川来須)での記録がある⁵。

香川県では、1970年代前半に五色台での観察種にあげられている⁶が、観察年月日等の詳細は不明である。また1971年(大川郡大内町)の記録があるとの記載がある⁷。これ以降では、確認した文献の範囲では1988年11月(高松市屋島西町、1羽)⁸しか公表されておらず、香川県レッドデータブック⁹にも掲載されていない。

今回の報告は、観察年月日・観察者・観察地が明確で写真も備えた極めて信頼性の高い記録であり、資料価値は極めて高く、公表された香川県における確実な記録としては、18年ぶりと思われる。

観察時期(4月上旬)は越冬期の終わり頃であり、それ以降観察されていないことから、観察者が推測されているように通過個体である可能性も高いが、これを手がかりとして他の越冬個体が発見されることも期待できる。本種の保護対策を検討するためにも、今後県内での記録を蓄積する必要がある。

- 1 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録(第6版). 日本鳥学会
 - 2 峯勝久. 1982.5. 野鳥情報. 野鳥. 第47巻5号(通巻428号)
 - 3 吉田和人. 1999. 朝日新聞社徳島支局開設80周年記念 阿波の野鳥. 教育出版センター
 - 4 石原保. 1982. 四国の野鳥誌. 築地書館
 - 5 日本野鳥の会愛媛県支部. 1992. 愛媛の野鳥観察ハンドブック はばたき. 愛媛新聞社
 - 6 香川県教育委員会. 1972. 五色台の野鳥. 香川県
 - 7 香川県. 1980. 香川県鳥獣目録. 香川県環境保健部自然保護課
 - 8 四国新聞社. 1996. 香川の野鳥ウォッチングガイド. 四国新聞社
 - 9 香川県. 2004. 香川県レッドデータブック 香川県の希少野生生物. 香川県環境森林部環境・水政策課
-